令和8年度

道路新設改良事業（単独）

市道追原中線

道路改良工事　実　施　設　計　書

事業主体　　広島県庄原市

施行箇所　　庄原市東城町粟田

工　　事　　概　　要

工事名	市道追原中線 道路改良工事
施行箇所	広島県 庄原市東城町粟田

	費目工種	工　種	種　別　・　細　別	数量 当初	数量 変更	単位	摘　要
工事概要	道路改良工事						
		延長L=		17.5		m	
		幅員W=		4		m	
		土工・掘削工	置換掘削	60		m3	
			片切掘削	20		m3	
		土工・盛土工	路体盛土　W＜1.0	3		m3	
			路体盛土　1.0≦W＜2.5	30		m3	
			路床盛土　W＜1.0	2		m3	
			路床盛土　1.0≦W＜2.5	7		m3	
			路床盛土　4.0≦W	10		m3	
			路肩盛土　W＜1.0	2		m3	
			置換盛土　4.0≦W	60		m3	
		搬入土	購入土	150		m3	
			運搬	120		m3	
		残土処分	砂質土・粘性土	110		m3	
		再生資源運搬処分	アスファルト殻処分	3		m3	7t
			コンクリート殻処分　無筋	5		m3	12t
			コンクリート殻処分　鉄筋	1		m3	3t
		法面整形工	盛土法面整形	20		m2	
			切土法面整形	20		m2	
		法面工	盛土法面　張芝	40		m2	
			切土法面　植生シート	20		m2	
			防草工　張りコンクリート	72		m2	
		排水工		1		式	
		側溝	PL2-300	17		m	
			KF-250	11		m	
			地下排水	24		m	

			P1-RC1-D500	8		m	
			HPΦ150	8		m	
			VPΦ100	5		m	
			VPΦ150	4		m	
			PVC600	8		m	
		集水桝工	3号集水桝	1		箇所	
			4号集水桝	1		箇所	
			10号集水桝	1		箇所	
			田面排水桝	2		箇所	
			分水溝	1		箇所	
			トランシジョン400-1	1		箇所	
		舗装工	表層　再生密粒度アスコン　t＝4cm	90		m2	
			上層路盤　粒度調整砕石　t＝7cm	72		m2	
			下層路盤　再生砕石　RC-40　t＝16cm	74		m2	
		構造物撤去工	アスファルト切断　t＝5cm	6		m	
			アスファルト撤去　t＝5cm	77		m2	
			コンクリート撤去　無筋	5		m3	
			コンクリート撤去　鉄筋	1		m3	
		仮設工	防護柵（ガードレール）	52		m	

特　記　仕　様　書

第 1 章　総　則

第 1 節　適　用

1　本特記仕様書は、市道 追原中線 道路改良工事　に適用する。

2　本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・土木工事共通仕様書 （令和８年８月　広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）

※　土木工事共通仕様書は、「広島県の調達情報」に掲載されている。　https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/

・その他関連規格類

第 2 節　適用除外

本工事では、土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）における下記の項目については適用しない。

- 1-1-2-14　施工管理　1. 標示板の設置
- 1-1-3-7　契約後ＶＥ工事
- 1-1-3-9　県産木材の活用
- 3-1-1-7　工事完成図書の納品　6. 地質調査の電子成果品等

第 3 節　用語等の読みかえ

土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）に規定されている用語等については次のとおり読みかえる。

土木工事共通仕様書に規定されている用語等			特記仕様書第１章総則で読みかえる用語等
1-1-1-2　用語の定義	6. 設計図書	工事数量総括表	本工事費内訳書
1-1-2-1　適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事監督規程	庄原市建設工事監督規程
1-1-2-1　適用	2. 共通仕様書の適用	土木工事検査規程	庄原市建設工事検査規程
1-1-2-2　用語の定義	1. 監督職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-2　用語の定義	2. 総括監督員	広島県契約規則（昭和39年4月1日規則第32号）	庄原市契約規則(平成17年3月31日規則第47号)
1-1-2-2　用語の定義	4. 技術検査	土木工事検査技術基準	庄原市建設工事検査基準
1-1-2-2　用語の定義	5. 検査職員	建設工事執行規則（平成8年6月11日規則第39号）	庄原市建設工事執行規則（平成17年3月31日規則第135号）
1-1-2-5　工事の下請負	1. 下請負者の資格	広島県の建設工事入札参加資格	庄原市の建設工事入札参加資格
1-1-2-5　工事の下請負	2. 指名除外	広島県の「建設業者等指名除外要綱」の指名停止	庄原市建設業者指名除外基準要綱の指名除外
1-1-2-5　工事の下請負	5. 下請け	広島県内	庄原市内
1-1-2-5　工事の下請負	6. 県外業者を下請業者とする場合の理由書	県外	市外

第　４　節　　現場代理人の兼務

１　受注者は、請負金額が 4,500万円（建築一式工事にあっては、9,000万円）未満に該当し、現場代理人の工事現場への常駐を要しないこととされた場合であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

（１）　兼務する工事が公共工事であり、庄原市内の工事であること。

（２）　兼務する工事件数が本件工事を含め５件（災害復旧工事に係る件数を除く）以内であること。

（３）　兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

（４）　監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

なお、(３)に掲げる書類については、兼務を予定する工事の発注者の承認手続に時間を要するなど、やむを得ない事情があると認められる場合には、申請後の提出も認めるものとするが、兼務する工事の発注者の承認後、速やかに兼務を承認したことを証する書面の写しを提出すること。

また、兼務の申請先が同一の発注者である場合には、兼務を希望するいずれかの工事について、申請を行えば足りるものとする。

２　受注者は、請負金額が4,500万円（建築一式工事にあっては、9,000万円）以上に該当し、工事箇所が１０ｋｍ程度以内で密接な関係のある他の公共工事（建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第２項が適用される工事として、同一の専任の主任技術者による工事の管理が認められるものに限る。）において現場代理人又は主任技術者として配置されている期間であって、かつ、次に掲げる条件をいずれも満たすときは、本件工事における現場代理人について、他の公共工事の現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

（１）　兼務する工事件数が本件工事を含め２件以内であること。

（２）　兼務する工事箇所が全て庄原市内であること。

（３）　兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

（４）　監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

なお、(３)に掲げる書類については、兼務を予定する工事の発注者の承認手続に時間を要するなど、やむを得ない事情があると認められる場合には、申請後の提出も認めるものとするが、兼務する工事の発注者の承認後、速やかに兼務を承認したことを証する書面の写しを提出すること。

また、兼務の申請先が同一の発注者である場合には、兼務を希望するいずれかの工事について、申請を行えば足りるものとする。

３　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、速やかに受注者に通知する。

４　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、兼務の承認を取消すものとする。

（１）　兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき。

（２）　兼務を承認した日から起算して14日（庄原市の休日を定める条例（平成17年３月31日条例第２号）第１条に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき。

（３）　兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき。

（４）　兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき。

（５）　著しい状況の変化により、兼務をすることが適当でなくなったとき。

（６）　その他、発注者の判断で兼務をすることが適当でなくなったとき。

５　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行なうことがある。

第　５　節　　現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

１　建設業法第26条第３項第１号の規定（以下、「専任特例１号」という。）の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合は次の要件をすべて満たすこと。

（１）　主任技術者又は監理技術者が兼務する工事の数は、本工事を含め２件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。

（２）　工事現場間の距離が、同一の主任技術者又は監理技術者が１日の勤務時間内に巡回可能であり、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合において、工事現場間の移動時間がおおむね２時間以内であること。

（３）　下請次数が３を超えないこと。

（４）　連絡員（土木一式工事又は建築一式工事の場合は、１年以上の当該業務の実務経験を有する者）を工事現場に配置すること。

（５）　工事現場の施工体制を、主任技術者又は監理技術者が情報通信技術（CCUS等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。

（６）　人員の配置を示す計画書を作成し、工事現場毎及び営業所に備え置くこと。

（７）　主任技術者又は監理技術者が、当該工事現場の状況の確認をするために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。

（８）　兼務する工事についても、上記（２）～（７）の要件を全て満たすこと。

（９）　上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例１号に係る条件を満たすこと。

２　専任特例１号を適用する主任技術者又は監理技術者を配置する場合には、前項（２）～（８）を確認するため、施工計画書に前項（６）の「人員の配置を示す計画書」を添付すること。

３　建設業法第26条第３項第２号の規定（以下、「専任特例２号」という。）の適用を受ける監理技術者の配置を行う場合は次の要件をすべて満たすこと。

（１）　建設業法施行令第29第1項で定める者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

（２）　監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、監理技術者に求める技術検定種目と同一であること。

（３）　監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。

（４）　監理技術者が兼務する工事の数は、本工事を含め２件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるものについては、これら複数の工事を一の工事とみなす。

（５）　監理技術者が兼務する工事の施工箇所は、工事箇所の間隔が10km程度以内であること。

（６）　監理技術者は施工に係る主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行すること。

（７）　監理技術者は監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制とすること。

（８）　監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。

（９）　上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例２号に係る条件を満たすこと。

４　専任特例２号を適用する監理技術者を配置する場合には、前項(6)～(8)を確認するため、施工計画書に業務分担、連絡体制等を記載すること。

５　建設業法第26条の５第１項の規定の適用を受ける営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）又は建設業法第26条の５第１項の規定を準用する経営業務の管理責任者の配置を行う場合は次の要件をすべて満たすこと。

（１）　配置する営業所（経営業務の管理責任者の場合は主たる営業所）で請負契約を締結

（２）　配置する工事現場の数が１であること。

（３）　配置する営業所と工事現場間が、１日の勤務時間内に巡回可能な距離で、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合における当該工事現場と当該営業所との移動時間がおおむね２時間以内であること。

（４）　下請次数が３を超えないこと。
（５）　連絡員（土木一式工事又は建築一式工事の場合は、１年以上の当該業務の実務経験を有する者）を当該営業所及び工事現場に配置すること。
（６）　工事現場の施工体制を、営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）又は経営業務の管理責任者が情報通信技術（CCUS等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。
（７）　人員の配置を示す計画書を作成し、工事現場及び営業所に備え置くこと。
（８）　当該営業所から当該工事現場の状況確認のために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。
（９）　上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）に係る条件を満たすこと。
６　建設業法第26条の５第１項の規定の適用を受ける営業所技術者等（営業所技術者及び特定営業所技術者）又は建設業法第26条の５第１項の規定を準用する経営業務の管理責任者を配置する場合には、前項（３）～（８）を確認するため、施工計画書に前項（７）の「人員の配置を示す計画書」を添付すること。

第　６　節　情報共有システム

本工事は、受注者からの申し出により監督員が承諾した場合に限り、情報共有システムを利用することができる。なお、利用することとなった場合には土木工事共通仕様書 1-1-1-27 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第　７　節　工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書 1-1-3-10 工事現場の現場環境改善費等に従うこと。
また、熱中症対策・防寒対策に要する費用は、精算時に積上げ計上することができる。なお、実施については本特記仕様書第１章 総則 第０節 現場環境改善（熱中症対策・防寒対策）に従うこと。

第　８　節　週休二日制工事

本工事は、週休二日制工事（受注者希望型）であり、「庄原市週休二日制工事実施要領」に従うこと。
なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「週休二日制工事実施届出書」、「休日取得工程表」、「休日取得状況表」は、「庄原市ＨＰ＞市政情報＞入札・契約・公売＞各種様式（建設工事等の入札・契約関係）＞建設工事関係」に掲載している。

第　９　節　ＩＣＴ活用工事

本工事はＩＣＴ活用工事（土工・舗装工）【実施方法により「土工」又は「舗装工」、「河川浚渫」、「法面工」、「地盤改良工」、「舗装工（修繕工）」、「構造物工（橋脚・橋台）」を選択（複数選択可）して記載する】（発注者指定型／発注者指定（簡易）型／受注者希望型）【実施方法により「発注者指定型」又は「発注者指定（簡易）型」、「受注者希望型」を選択して記載する】およびＩＣＴ活用工事（構造物工（橋脚・橋台））（受注者希望型）であり、「ＩＣＴ活用工事実施要領（令和８年８月１日改正）」及び「ＩＣＴ活用工事共通仕様書（令和８年８月１日改定）」に基づき実施するものとする。「ＩＣＴ活用工事実施要領（令和８年８月１日改正）」及び「ＩＣＴ活用工事共通仕様書（令和８年８月１日改定）」に記載の国土交通省が定めるＩＣＴ活用工事の実施要領及び積算要領は、「ＩＣＴの全面的な活用の推進に関する実施方針（令和８年４月１日以降適用）」を適用する。

第　１０　節　工事関係書類の事前協議（情報共有システム利用工事に限る。）

受注者は、「土木工事書類作成マニュアル（案）令和２年11月（令和８年８月改定）広島県」に記載のある「2　工事関係書類一覧」に基づき、工事着手前に、工事書類の電子又は紙による提出又は提示方法を監督員と事前協議し決定する。ただし、出来形管理図表・品質管理表・工事写真の提出又は提示方法については、紙に変更できるものとする。

第 １１ 節　遠隔地からの労働者を確保する場合の積算方法

１　「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の次に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、積算基準書等の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更を行う。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上げ費（宿泊費、借上げ費については労働者確保に係るものに限る。）

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

２　受注者は、遠隔地から労働者を確保する場合、実績変更対象費の割合を参考にし、工事着手までに実施計画書を作成し、監督職員に提出する。

３　最終精算変更時点において、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更が必要な場合は、実績報告書及び実績変更対象費について実際に支払った全ての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等。）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

４　受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

５　実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、積算基準書等に基づき算出した額における実績変更対象費を差し引いた額を加算して算出する。

なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

６　受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。

７　疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

８　本工事における実績変更対象費の割合は次のとおりである。

（１）　共通仮設費（率分）に占める実績変更対象費（労働者送迎費、宿泊費、借上げ費）の割合：　０．００％

（２）　現場管理費に占める実績変更対象費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：　０．００％

第 １２ 節　法令及び条例等の遵守

１　次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。

（１）　工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」

（２）　上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」

（３）　上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」

２　「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。

３　「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 １３ 節　建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書 1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

１　再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

２　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆

の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

（１）工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

（２）再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

（３）上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

（１）建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

（２）建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

（３）建設発生土の搬出元の名称及び所在地

（４）建設発生土の搬出量

（５）建設発生土の搬出が完了した日

１０　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

１１　受領書の内容確認
　受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
１２　受領書の保管
　受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。
１３　建設発生土の最終搬出先までの確認
　受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
（１）国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
（２）受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
（３）ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
（４）９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第２章　施工条件

第１節　盛　土

１ 流用土（工事内流用）

本工事の施工により発生する土のうち、　１２３　㎥（地山土量）については当該工事に流用するものと見込んでいる。

２ 購入土［搬入］（新材料）

本工事では、　１４７　㎥（ほぐし）の土砂購入を見込んでいる。
なお、新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。
ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第２節　建設副産物

１ 建設発生土［搬出］（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のいずれかに搬出するものとする。
また、搬出先として、建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
搬出場所　㈱宮田木材　光森処分場　庄原市東城町加谷字大鉄穴5081-2
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第３章　その他

１　本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。
２　事前に関係河川漁協と協議を行い、同意等の承諾を得ること。
３　本工事における濁水の影響が想定される場合は、監督職員と協議すること。

令和　8　年度

市道追原中線道路改良工事

庄原市東城町粟田　　地内

工　事　価　格	
消 費 税 相 当 額	
工　事　費　計	

積 算 情 報

工事名	市道追原中線道路改良工事		
執行年度	令和　8　年度	諸経費区分	公共 令和08年度
工種区分	道路改良工事	変更回数	
単価適用年月日	令和 8年10月 1日付 公共	単価地区	53:庄原市(旧東城町)
機損適用年月日	令和 8年度 公共	歩掛適用年月日	令和 8年 8月 公共

補 正 情 報

施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 ・・・・・・・・・・・ 一般交通影響有り(2)-2 現場管理費 ・・・・・・・・・・・ 一般交通影響有り(2)-2 現場環境改善費 ・・・ 大都市・市街地以外
現場環境改善費	計上する
冬期補正	冬期補正無　（0.00 %）
緊急工事補正	緊急工事補正無
前払支出割合区分	３５%を超え４０%以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合

諸 経 費 設 定 情 報

名　　称	値
【 週休2日補正 】	補正なし
【工区名称：道路改良工事02】	
[共通設定]	
施工地域	一般交通影響有り(2)-2
前払金支出割合区分	３５％を超え４０％以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
工事価格端数調整	千円止め
現場環境改善費計上区分	計上する
諸経費を前回金額に固定	前回金額に固定しない
[共通仮設費]	
率指定	しない
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0
加算補正(+n)（%）	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[現場環境改善費]	
率指定	しない
施工地域区分	大都市・市街地以外
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n)（%）	0
積み上げ上限チェック	する
上限率（%）	100
[現場管理費]	
率指定	しない
施工時期、工事期間による補正	行わない
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限(%)	0
乗算補正(*n)補正前に乗じる	0
乗算補正(*n)補正後に乗じる	0

諸 経 費 設 定 情 報

名　　称	値
加算補正(+n) (%)	0
施工地域補正の加重平均まるめ	小数3位四捨五入2位止め
[一般管理費等]	
率指定	しない
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
契約保証に係る額の対象額(円)	0
目標額(円)	0
[間接労務費]	
[工場管理費]	
[工期延長等に伴う増加費用]	
工期延長等に伴う増加費用計上区分	計上しない
[消費税]	
(経過措置)複数の税率を適用する	複数税率を適用しない

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	基　　準
道路改良工事02	1	式				
道路改良	1	式			Lv1	処:
道路土工	1	式			Lv2	処:
掘削工	1	式			Lv3	
掘削	1	式			Lv4	
掘削 片切掘削 土砂	20	m3			P　1 号	
掘削 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 土砂 5,000m3未満 押土無し	60	m3			P　2 号	
盛土工	1	式			Lv3	
路体盛土	1	式			Lv4	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	3	m3			P　3 号	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	30	m3			P　3 号	
路床盛土	1	式			Lv4	

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
路床盛土 2.5m未満	2	m3			P　4 号	
路床盛土 2.5m未満	7	m3			P　4 号	
路床盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	10	m3			P　5 号	
路肩盛土	1	式			Lv4	
路体(築堤)盛土 2.5m未満	2	m3			P　3 号	
置換盛土	1	式			Lv4	
路床盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	60	m3			P　5 号	
搬入土	1	式			Lv3	
購入土	1	式			Lv4	
購入土（土砂2） 見積	150	m3				
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂 6.5km以下 DID区間無 ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む	120	m3			P　6 号	
残土処理工	1	式			Lv3	処:

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
土砂等運搬	1	式			Lv4	
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂 15.5km以下 DID区間無 ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む	110	m3			P　7 号	
残土等処分	1	式			Lv4	処:
建設発生土受入費 粘性土 ㈱宮田木材光森処分場 受入地 庄原市東城町	60	m3				処:
建設発生土受入費 砂･砂質土･礫質土 ㈱宮田木材光森処分場 受入地 庄原市東城町	50	m3				処:
法面整形工	1	式			Lv3	
法面整形(盛土部)	1	式			Lv4	
法面整形 切土部 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土 現場制約無し	20	m2			P　8 号	
法面整形 盛土部 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土 法面締固め無し 現場制約無し	20	m2			P　9 号	
法面工	1	式			Lv2	
法面保護工	1	式			Lv3	
法面保護	1	式			Lv4	

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
植生シート工(標準品) 施工規模250m2未満 時間制約無	20	m2			施　10 号	
人工張芝	40	m2			P　11 号	
防草コンクリート	1	式			Lv4	
盛土部(新設)道路改良等	72	m2			施　12 号	
構造物撤去工	1	式			Lv2	処:
構造物取壊し工	1	式			Lv3	
舗装版切断	1	式			Lv4	
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　15cm以下	6	m			P　13 号	
舗装版破砕	1	式			Lv4	
舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　厚15cm以下 障害等無し　積込作業有　騒音振動対策不要	77	m2			P　14 号	
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し	1	式			Lv4	
構造物とりこわし 鉄筋構造物　機械施工 昼間　時間制約無　低騒音･低振動対策不要	1	m3			施　15 号	

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 昼間 時間制約無 低騒音･低振動対策不要	5	m3			施 16 号	
運搬処理工	1	式			Lv3	処:
殻運搬	1	式			Lv4	
殻運搬 舗装版破砕 機械(騒音対策不要､厚15cm以下) 11.5km以下 DID区間無 ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む	3	m3			P 17 号	
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 10.9km以下 DID区間無 ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む	1	m3			P 18 号	
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 10.9km以下 DID区間無 ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む	5	m3			P 19 号	
殻処分	1	式			Lv4	処:
再資源化施設受入費 ｱｽ塊 10t,4t,2t 前田道路㈱ 東城合材工場 庄原市東城町	7	t				処:
再資源化施設受入費 ｺﾝ塊(有筋) 10t,4t,2t 前田道路㈱ 東城合材工場 庄原市東城町	3	t				処:
再資源化施設受入費 ｺﾝ塊(無筋) 10t,4t,2t 前田道路㈱ 東城合材工場 庄原市東城町	12	t				処:
排水構造物工	1	式			Lv2	
作業土工	1	式			Lv3	

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
床掘り	1	式			Lv4	
床掘り 土砂 小規模	40	m3			P 20 号	
埋戻し	1	式			Lv4	
埋戻し 小規模 土砂	20	m3			P 21 号	
側溝工	1	式			Lv3	
L型側溝	1	式			Lv4	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝(製品長0.6m/個)据付 300(500×155×600) 基礎砕石有り	17	m			P 22 号	
U型側溝	1	式			Lv4	
角フリューム２５０	11	m			単 23 号	
地下排水	1	式			Lv4	
地下排水 高密度ポリエチレン管　φ200	24	m			単 24 号	
管渠工	1	式			Lv3	

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
P1-RC1-D500	1	式			Lv4	
P1-RC1-D500	8	m			単　25 号	
HPΦ150	1	式			Lv4	
ヒューム管(B形管)据付 ﾋｭｰﾑ管各種 150㎜	8	m			P　26 号	
VPΦ100・150	1	式			Lv4	
硬質塩化ビニール管布設 管径100㎜ 接着受口管	5	m			施　27 号	
硬質塩化ビニール管布設 管径150㎜ 接着受口管	4	m			施　28 号	
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管　PVC600	1	式			Lv4	
PVC-600	8	m			単　29 号	
集水桝･ﾏﾝﾎｰﾙ工	1	式			Lv3	
現場打ち集水桝	1	式			Lv4	
3号集水桝	1	箇所			単　30 号	

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
4号集水桝	1	箇所			単　31 号	
10号集水桝	1	箇所			単　32 号	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ集水桝	1	式			Lv4	
トランシジョン400-1	1	箇所			単　33 号	
分水溝	1	箇所			単　34 号	
田面排水桝	2	箇所			単　35 号	
舗装工	1	式			Lv2	
車道舗装	1	式			Lv3	
表層	1	式			Lv4	
表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚40㎜ 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) 平均幅員3.0m超 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35	90	m2			P　36 号	
上層路盤	1	式			Lv4	
上層路盤(車道･路肩部) 全仕上り厚70㎜ 1層施工 粒度調整砕石 M-30	72	m2			P　37 号	

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
下層路盤	1	式			Lv4	
下層路盤(車道･路肩部) 全仕上り厚160㎜ 1層施工 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40	74	㎡			P　38 号	
道路維持	1	式			Lv1	
防護柵工	1	式			Lv2	
路側防護柵工	1	式			Lv3	
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ	1	式			Lv4	
防護柵(ガードレール)設置工 土中建込 塗装 Gr-C-4E 曲線部無 規模50m～100m未満 時間制約無 夜間作業無	52	m			施　39 号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				一般交通影響有り(2)-2
現場環境改善費率分	1	式				大都市・市街地以外

庄原市

本　工　事　費　内　訳　書

費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目	数　　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	基　　準
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				一般交通影響有り(2)-2
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				金銭的保証を必要とする
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

【 第　1 号 施工パッケージ 】

掘削 片切掘削　土砂　　1　　m3 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			10.28				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標･超低騒音･排：2014年規制] ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3			10.28				
【労務】			84.26				
普通作業員			74.39				
運転手（特殊）			9.87				
【材料】			5.46				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			5.46				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　土質 土砂			[J2] = 2　施工方法 片切掘削				

庄原市

【 第　2 号 施工パッケージ 】

掘削 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ　土砂 5,000m3未満　　1　m3 当り

(押土無し　　,　　)

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			44.63				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標･超低騒音･排：2014年規制] ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3			44.63				
【労務】			35.43				
運転手（特殊）			35.43				
【材料】			19.94				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			19.94				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　土質 土砂 [J4] = 2　押土の有無 押土無し [J6] = 3　施工数量 5,000m3未満			[J2] = 1　施工方法 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ [J5] = 1　障害の有無 障害無し				

【 第　3 号 施工パッケージ 】

路体(築堤)盛土　2.5m未満　　1　　m3 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			0.63				
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t			0.63				
【労務】			99.14				
普通作業員			90.71				
特殊作業員			8.43				
【材料】			0.23				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.23				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　施工幅員 2.5m未満							

【 第　4 号 施工パッケージ 】

路床盛土　2.5m未満　　1　　m3 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			0.72				
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t			0.72				
【労務】			99.01				
普通作業員			89.35				
特殊作業員			9.66				
【材料】			0.27				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.27				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　施工幅員 2.5m未満							

庄原市

【 第　5 号 施工パッケージ 】

路床盛土　4.0m以上 20,000m3未満 障害無し　　1　　m3 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			16.67				
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排対型1,2次基準 低騒音			8.90				
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排対型1,2,3次 低騒音			7.77				
【労務】			65.56				
運転手（特殊）			45.21				
普通作業員			20.35				
【材料】			17.77				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			17.77				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3　施工幅員 4.0m以上			[J2] = 1　施工数量 20,000m3未満				
[J3] = 1　障害の有無 障害無し							

庄原市

【 第　6 号 施工パッケージ 】

土砂等運搬　標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂　　1　m3 当り

(6.5km以下 DID区間無　,ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む　)

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			42.89				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 通称 10t積級			42.89				
【労務】			41.78				
運転手（一般）			41.78				
【材料】			15.33				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			15.33				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　土砂等発生現場 標準 [J3] = 1　土質 土砂(岩塊･玉石混り土含む) [J5] = 9　運搬距離 6.5km以下			[J2] = 1　積込機種･規格 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 [J4] = 1　DID区間の有無 DID区間無				

庄原市

【 第　7 号 施工パッケージ 】

土砂等運搬　標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 土砂　　1　　m3 当り

(15.5km以下 DID区間無　,ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む　)

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			42.89				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 通称 10t積級			42.89				
【労務】			41.78				
運転手（一般）			41.78				
【材料】			15.33				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			15.33				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　土砂等発生現場 標準 [J3] = 1　土質 土砂(岩塊･玉石混り土含む) [J5] = 13　運搬距離 15.5km以下			[J2] = 1　積込機種･規格 ﾊﾞｯｸﾎｳ ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3 [J4] = 1　DID区間の有無 DID区間無				

庄原市

【 第　8 号 施工パッケージ 】

法面整形　切土部 ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土　　1　　m2 当り

(　　,現場制約無し　　)

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			8.80				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			8.80				
【労務】			81.51				
普通作業員			38.92				
運転手（特殊）			22.44				
土木一般世話役			20.15				
【材料】			9.69				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			9.69				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2　整形箇所 切土部			[J3] = 2　現場制約の有無 現場制約無し				
[J4] = 1　土質 ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土			[J5] = 1　費用の内訳 全ての費用				

【 第　9 号 施工パッケージ 】

法面整形　盛土部 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土　　1　　m2 当り

(法面締固め無し　　,現場制約無し　　)

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			11.31				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			11.31				
【労務】			76.24				
普通作業員			33.80				
運転手（特殊）			28.83				
土木一般世話役			13.61				
【材料】			12.45				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			12.45				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　整形箇所 盛土部			[J2] = 2　法面締固めの有無 法面締固め無し				
[J3] = 2　現場制約の有無 現場制約無し [J5] = 1　費用の内訳 全ての費用			[J4] = 1　土質 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土				

【 第 10 号 施工単価表 】

植生シート工(標準品) 施工規模250m2未満　　1　m2 当り

(時間制約無　　,　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
法面工 植生工(人力施工) 植生シート工 肥料袋無(標準品) 【材工共】	1	m2				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 工種 植生ｼｰﾄ工(標準品)		[B] = 4 施工規模 施工規模250m2未満				
[C] = 1 時間制約 時間制約無						

庄原市

【 第 11 号 施工パッケージ 】

人工張芝　　1　　m2 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【労務】			64.52				
普通作業員			46.00				
土木一般世話役			18.52				
【材料】			35.48				
張芝 幅100cm,ワラ付			35.48				
【端数調整】							
[条件] [y1] = 1　芝規格 幅100cm ﾜﾗ付							

庄原市

【 第 12 号 施工単価表 】

盛土部(新設)道路改良等　　15　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
コンクリート 人力打設 無筋･鉄筋構造物 18-8-20(25)高炉60% 一般養生	1.05	m3			P 40 号	
コンクリートコテ仕上げ	10	m2			施 41 号	
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	0.7	m2			P 42 号	
目地板 30m2以上 瀝青質目地板 t=10mm	0.11	m2			P 43 号	
支柱型枠 φ200mm，H=70mm	2.5	箇所				
計						
単位当たり						
[条件] [N1] = 1　生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-20(25)(高炉)W/C60%			[B] = 1　型枠の種類 一般型枠			
[C] = 1　目地板の種類 瀝青質目地板 t=10mm			[D] = 2.500　箇所　支柱型枠数量			

庄原市

【 第 13 号 施工パッケージ 】

舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15㎝以下　　1 m 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			14.40				
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音)・湿式・ｴﾝｼﾞﾝ] 通称 (切削深)20㎝級 ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径φ56㎝			9.80				
その他(機械)							
【労務】			58.90				
特殊作業員			20.20				
土木一般世話役			10.89				
普通作業員			9.00				
その他(労務)							
【材料】			26.70				
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45㎝(18インチ)			22.47				
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			2.88				
その他(材料)							

庄原市

【 第 13 号 施工パッケージ 】 （続 き）

舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下 1 m 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 1 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚 15cm以下				

庄原市

【 第 14 号 施工パッケージ 】

舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 厚15㎝以下　　1 ㎡ 当り

(障害等無し 積込作業有 ,騒音振動対策不要)

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			12.28				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排対型1,2,3次 低騒音			12.28				
【労務】			81.66				
土木一般世話役			29.51				
運転手（特殊）			27.76				
普通作業員			24.39				
【材料】			6.06				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			6.06				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版			[J2] = 1 障害等の有無 無し				
[J3] = 1 騒音振動対策 不要 [J6] = 1 積込作業の有無 有り			[J4] = 4 舗装版厚 15㎝以下 [J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

庄原市

【 第 15 号 施工単価表 】

構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工　　1　m3 当り

(昼間 時間制約無　　,低騒音･低振動対策不要)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし 構造物とりこわし工	1	m3				
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 2 構造物区分 鉄筋構造物 [C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無 [E] = 2 低騒音･低振動対策 低騒音･低振動対策不要		[B] = 1 工法区分 機械施工 [D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無				

庄原市

【 第 16 号 施工単価表 】

構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工　　1　m3 当り

(昼間 時間制約無　　,低騒音･低振動対策不要)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし 構造物とりこわし工	1	m3				
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 構造物区分 無筋構造物		[B] = 1 工法区分 機械施工				
[C] = 3 時間的制約の有無 時間制約無 [E] = 2 低騒音･低振動対策 低騒音･低振動対策不要		[D] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無				

【 第 17 号 施工パッケージ 】

殻運搬 舗装版破砕 機械(騒音対策不要､厚15㎝以下) 1 ㎥3 当り

(11.5㎞以下 DID区間無 ,ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			42.27				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 通称 10t積級			42.27				
【労務】			41.18				
運転手（一般）			41.18				
【材料】			16.55				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			16.55				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 殻発生作業 舗装版破砕 [J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無 [JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 3 積込工法区分 機械(騒音対策不要､厚15㎝以下) [JA] = 5 運搬距離 11.5㎞以下				

庄原市

【 第 18 号 施工パッケージ 】

殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込　　1　　m3 当り

(10.9km以下 DID区間無 ,ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む)

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			39.03				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 通称 10t積級			39.03				
【労務】			46.18				
運転手（一般）			46.18				
【材料】			14.79				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			14.79				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 2　殻発生作業 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし [J3] = 1　DID区間の有無 DID区間無 [JJ] = 1　費用の内訳 全ての費用			[J2] = 1　積込工法区分 機械積込 [JE] = 5　運搬距離 10.9km以下				

【 第 19 号 施工パッケージ 】

殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込　　1　　m3 当り

(10.9km以下 DID区間無 ,ﾀｲﾔ損耗費(良好)含む)

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			39.03				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 通称 10t積級			39.03				
【労務】			46.18				
運転手（一般）			46.18				
【材料】			14.79				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			14.79				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　殻発生作業 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし [J3] = 1　DID区間の有無 DID区間無 [JJ] = 1　費用の内訳 全ての費用			[J2] = 1　積込工法区分 機械積込 [JE] = 5　運搬距離 10.9km以下				

【 第 20 号 施工パッケージ 】

床掘り 土砂 小規模　　1 ㎥3 当り

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			19.50				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[後方超小旋回型・排対:3次] ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28㎥3			19.50				
【労務】			73.36				
運転手（特殊）			39.84				
普通作業員			33.52				
【材料】			7.14				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			7.14				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　土質 土砂 [J5] = 1　費用の内訳 全ての費用			[J2] = 5　施工方法 上記以外(小規模)				

庄原市

【 第 21 号 施工パッケージ 】

埋戻し 小規模　　1 m3 当り

(土砂 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			9.23				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[後方超小旋回型・排対:3次] ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3			8.67				
ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ[ﾗﾝﾏ] 通称 60～80kg級			0.56				
【労務】			86.75				
普通作業員			49.78				
特殊作業員			19.28				
運転手（特殊）			17.69				
【材料】			4.02				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			3.17				
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			0.85				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 5 施工方法 上記以外(小規模)			[J2] = 1 土質 土砂				

庄原市

【 第 21 号 施工パッケージ 】 （続 き）

埋戻し 小規模 1 m3 当り

(土砂 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
[J4] = 1 費用の内訳 全ての費用							

【 第 22 号 施工パッケージ 】

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝(製品長0.6m/個)据付 300(500×155×600) 1 m 当り

(基礎砕石有り ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			7.81				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標・超低・C機・排:2014年規制] ﾊﾞｹｯﾄ容量0.5m3 吊能力2.9t			5.83				
その他(機械)							
【労務】			59.88				
普通作業員			25.07				
土木一般世話役			10.08				
運転手（特殊）			6.45				
特殊作業員			3.10				
その他(労務)							
【材料】			32.31				
鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg			29.61				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			2.02				

【 第 22 号 施工パッケージ 】 （続 き）

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL形側溝(製品長0.6m/個)据付 300(500×155×600) 1 m 当り

(基礎砕石有り ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付			[J2] = 1 基礎砕石の有無 有り				
[J3] = 5 L形側溝の種類 300(500×155×600)			[J4] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 23 号 単価表 】

角フリューム２５０　　10　　m 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	基　　準
用排水角フリューム（ＫＦ） 250 Ｌ＝2.0m 97kg	5	本				
角フリューム用パット ＫＦ２５０用 Ｌ＝0.90m	5	枚				
Ｕ型側溝据付け 昼間 時間制約無 基礎砕石施工有	10	m			施 44 号	
計						
単位当たり						

庄原市

【 第 24 号 単価表 】

地下排水 高密度ポリエチレン管 φ200　　10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
暗渠排水管 据付 波状管 50～150㎜ 継手材料費要	10	m			P 45 号	
フィルター材 単粒度砕石 4号 30-20	2.186	m3			P 46 号	
計						
単位当たり						

庄原市

【 第 25 号 単価表 】

P1-RC1-D500　　10　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
ヒューム管(B形管)据付 外圧管1種 500㎜ 90°巻き 基礎砕石有り 18-8-20(25)高炉60%	10	m			P 47 号	
計						
単位当たり						

【 第 26 号 施工パッケージ 】

ヒューム管(Ｂ形管)据付 ﾋｭｰﾑ管各種 150㎜ 1 m 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			4.05				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014			3.62				
その他(機械)							
【労務】			52.79				
普通作業員			21.89				
運転手（特殊）			11.04				
土木一般世話役			8.80				
特殊作業員			5.41				
その他(労務)							
【材料】			43.16				
遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径150,長さ2,000 参考質量77kg			40.29				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			2.57				

【 第 26 号 施工パッケージ 】 （続 き）

ヒューム管(Ｂ形管)据付 ﾋｭｰﾑ管各種 150㎜ 1 m 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付 [J3] = 4 固定基礎 無し [J7] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 1 管径 200㎜ [J5] = 3 規格 ﾋｭｰﾑ管各種				

【 第 27 号 施工単価表 】

硬質塩化ビニール管布設 管径100㎜ 100 m 当り

(接着受口管 ,)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
普通作業員		人				
特殊作業員		人				
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径100(114×6.6) 参考質量3.409kg/m	101	m				
接着剤	0.4	kg				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 1 管径 管径100㎜		[C] = 1 管種別 接着受口管				

庄原市

【 第 28 号 施工単価表 】

硬質塩化ビニール管布設 管径150㎜ 100 m 当り

(接着受口管 ,)

名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
普通作業員		人				
特殊作業員		人				
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径150(165×8.9) 参考質量6.701kg/m	101	m				
接着剤	0.8	kg				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [B] = 3 管径 管径150㎜		[C] = 1 管種別 接着受口管				

庄原市

【 第 29 号 単価表 】

PVC-600　　10　m 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径600㎜	10	m			P 48 号	
計						
単位当たり						

庄原市

【 第 30 号 単価表 】

3号集水桝　　1　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 1.36m3を超え1.44m3以下 18-8-20(25)高炉60% 一般･特殊養生(練炭)	1	箇所			P 49 号	
足掛金物据付	3	本			施 50 号	
計						
単位当たり						

庄原市

【 第 31 号 単価表 】

4号集水桝　　1　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 1.44m3を超え1.52m3以下 18-8-20(25)高炉60% 一般･特殊養生(練炭)	1	箇所			P 51 号	
足掛金物据付	3	本			施 50 号	
計						
単位当たり						

庄原市

【 第 32 号 単価表 】

10号集水桝　　1　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 0.65m3を超え0.69m3以下 18-8-20(25)高炉60% 一般･特殊養生(練炭)	1	箇所			P 52 号	
計						
単位当たり						

【 第 33 号 単価表 】

トランシジョン400-1　　1　箇所 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
プレキャスト集水桝 据付 600kgを超え800kg以下 基礎砕石有り	1	基			P 53 号	
トランシジョン 400-1 400×1000	1	個				
基礎砕石 12.5㎝を超え17.5㎝以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0	1.33	m2			P 54 号	
計						
単位当たり						

庄原市

【 第 34 号 単価表 】

分水溝　　1　箇所 当り

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
U型側溝据付け L=1000㎜使用 昼間 時間制約無 基礎砕石施工無	1	m			施 55 号	
用排水角フリューム付属品（片口分水溝） 250 L＝1.0m 79kg	1	個				
計						
単位当たり						

庄原市

【 第　35 号 単価表 】

田面排水桝　　1　　箇所 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	基　　準
田面排水ボックス 400×600×250	1	個				
計						
単位当たり						

【 第 36 号 施工パッケージ 】

表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚40㎜ 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) 1 ㎡2 当り

(平均幅員3.0m超 ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35)

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			1.32				
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排対型1,2次基準 低騒音			0.84				
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排対型2014 超低騒音			0.13				
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排対型1,2次基準			0.13				
その他(機械)							
【労務】			10.25				
普通作業員			3.69				
運転手（特殊）			2.07				
特殊作業員			2.05				
土木一般世話役			0.73				
その他(労務)							
【材料】			88.43				

庄原市

【 第 36 号 施工パッケージ 】 （続 き）

表層(車道･路肩部) 1層当り仕上厚40㎜ 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) 1 ㎡2 当り

(平均幅員3.0m超 ,ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ 締固密度2.35)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			80.48				
アスファルト乳剤(JISK2208) ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			7.39				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.47				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 40.000 ㎜ 1層当り平均仕上り厚 [A1] = 11 材料 再生密粒度ｱｽｺﾝ(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用 [A3] = 1 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物夜間割増 夜間割増なし			[J1] = 4 平均幅員 3.0m超 [J4] = 3 瀝青材料種類 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3 [A2] = 1 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物小型車割増 小型車割増なし				

【 第 37 号 施工パッケージ 】

上層路盤(車道･路肩部) 全仕上り厚70㎜ 1層施工　　1　m2 当り

(粒度調整砕石 M-30　,　)

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			11.39				
ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ[土工用･排対型2014年規制] ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m			7.88				
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排対型1,2次基準			0.98				
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排対型2014 超低騒音			0.96				
その他(機械)							
【労務】			38.57				
運転手（特殊）			16.98				
普通作業員			6.21				
特殊作業員			5.55				
土木一般世話役			4.51				
その他(労務)							
【材料】			50.04				

庄原市

【 第 37 号 施工パッケージ 】 （続 き）

上層路盤(車道･路肩部) 全仕上り厚70㎜ 1層施工 1 ㎡2 当り

(粒度調整砕石 M-30 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
粒度調整砕石 30～0㎜			46.32				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			3.21				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 10 材料 粒度調整砕石 M-30			[J4] = 70.000 ㎜ 全仕上り厚				
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 38 号 施工パッケージ 】

下層路盤(車道･路肩部) 全仕上り厚160㎜ 1層施工　　1 ㎡2 当り

(再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 ,)

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			5.50				
ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ[土工用･排対型2014年規制] ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m			3.81				
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排対型1,2次基準			0.47				
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排対型2014 超低騒音			0.46				
その他(機械)							
【労務】			18.62				
運転手（特殊）			8.20				
普通作業員			3.00				
特殊作業員			2.68				
土木一般世話役			2.17				
その他(労務)							
【材料】			75.88				

【 第 38 号 施工パッケージ 】 （続 き）

下層路盤(車道･路肩部) 全仕上り厚160㎜ 1層施工 1 ㎡2 当り

(再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
再生クラッシャラン 40～0㎜			74.09				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			1.55				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 160.000 ㎜ 全仕上り厚			[J2] = 1 施工区分 1層施工				
[J3] = 6 材料 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40			[J4] = 1 費用の内訳 全ての費用				

庄原市

【 第 39 号 施工単価表 】

防護柵(ガードレール)設置工 土中建込 塗装 Gr-C-4E 曲線部無　　1　m 当り

(規模50m～100m未満 ,時間制約無 夜間作業無)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
防護柵設置工(ガードレール) 標準型 土中建込・塗装品(白色) Gr-C-4E 【材工共】	1	m				
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 3 施工区分 土中建込 塗装 Gr-C-4E		[B] = 2 施工規模 施工規模50m～100m未満				
[C] = 1 時間制約 時間制約無 [E] = 1 曲線部補正 曲線部無		[D] = 1 夜間作業 夜間作業無 [F] = 1 加算額区分:L=支柱長-標準支柱長 加算無				

庄原市

【 第 40 号 施工パッケージ 】

コンクリート 人力打設 無筋･鉄筋構造物 1 m3 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般養生)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			28.77				
普通作業員			12.92				
特殊作業員			7.34				
土木一般世話役			6.55				
その他(労務)							
【材料】			71.23				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%),高炉			71.23				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 構造物種別 無筋･鉄筋構造物 [N1] = 47 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-20(25)(高炉)W/C60% [J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し [N3] = 1 生ｺﾝ小型車割増 小型車割増なし			[J9] = 3 打設工法 人力打設 [J5] = 2 養生工の種類 一般養生 [JB] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 41 号 施工単価表 】

コンクリートコテ仕上げ　　1　m2 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
左官		人				
計						
単位当たり						

【 第　42 号 施工パッケージ 】

型枠　一般型枠 鉄筋･無筋構造物　　1　　m2 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【労務】			100.00				
型わく工			46.74				
普通作業員			25.15				
土木一般世話役			9.42				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1　型枠の種類 一般型枠			[J2] = 1　構造物の種類 鉄筋･無筋構造物				

庄原市

【 第　43 号 施工パッケージ 】

目地板　30㎡2以上 瀝青質目地板 t=10㎜　　1　　㎡2 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【労務】			66.58				
普通作業員			49.08				
土木一般世話役			17.17				
その他(労務)							
【材料】			33.42				
目地板 瀝青質板 厚10㎜			33.42				
【端数調整】							
[条件] [J2] = 2　1工事当り使用量 30㎡2以上			[J1] = 1　目地板の種類 瀝青質目地板 t=10㎜				

庄原市

【 第 44 号 施工単価表 】

U型側溝据付け　　10　m 当り

(昼間 時間制約無　　,基礎砕石施工有　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
再生クラッシャラン 40～0㎜	0.384	m3				
諸　雑　費　（丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1　作業区分 据付け			[B] = 1　L=1,000㎜､4,000㎜の使用の有無 無し			
[C] = 2　夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 51　U型側溝種類 再利用撤去 又は材料別途計上			
[E] = 3　規格･仕様区分 L=2000㎜ 1000kg/個以下			[F] = 3　時間的制約の有無 時間制約無			
[G] = 1　施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 1　基礎砕石施工の有無 基礎砕石施工有			
[I] = 5　基礎砕石の種類 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 40～0			[J] = 0.320　m3　基礎砕石設計数量			

【 第 45 号 施工パッケージ 】

暗渠排水管 据付 波状管 50～150㎜ 1 m 当り

(継手材料費要 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【労務】			29.09				
普通作業員			20.02				
土木一般世話役			9.07				
【材料】			70.91				
波付硬質合成樹脂管<JISC3653附> FEP(波付硬質ポリエチレン管) 200㎜			70.91				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付 [J6] = 1 管規格 呼び径50～150㎜ [J5] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J2] = 3 管種別 波状管 [J4] = 1 継手材料費 要				

庄原市

【 第　46 号 施工パッケージ 】

フィルター材　単粒度砕石 4号 30-20　　1　　m3 当り

名　　称　・　規　　格	金額構成比(%)	金　　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　　準
【機械】			15.46				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[後方超小旋･超低ｸﾚｰﾝ･排2014] ﾊﾞｹｯﾄ容量0.5～0.6m3 吊能力2.9t			15.16				
その他(機械)							
【労務】			61.20				
普通作業員			28.59				
運転手（特殊）			14.50				
土木一般世話役			12.94				
特殊作業員			3.98				
その他(労務)							
【材料】			23.34				
単粒度砕石4号 30～20mm			18.70				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			4.55				

【 第 46 号 施工パッケージ 】 （続 き）

フィルター材 単粒度砕石 4号 30-20 1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 8 ﾌｨﾙﾀｰ材の種類 単粒度砕石 4号 30-20			[J2] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 47 号 施工パッケージ 】

ヒューム管(Ｂ形管)据付　外圧管1種 500㎜ 90° 巻き 基礎砕石有り　　1　m 当り

(18-8-20(25)高炉60%　,　)

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			1.72				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014			1.53				
その他(機械)							
【労務】			48.92				
普通作業員			15.64				
型わく工			7.06				
土木一般世話役			6.07				
運転手（特殊）			4.67				
その他(労務)							
【材料】			49.36				
遠心力鉄筋コンクリート管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径500,長さ2,430 参考質量459kg			39.39				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%),高炉			8.75				

【 第 47 号 施工パッケージ 】 （続 き）

ヒューム管(Ｂ形管)据付 外圧管1種 500㎜ 90°巻き 基礎砕石有り 1 m 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			1.08				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付			[J2] = 7 管径 500㎜				
[J3] = 1 固定基礎 90°巻き [J5] = 1 規格 外圧管1種 [J7] = 1 費用の内訳 全ての費用			[J4] = 1 基礎砕石の有無 有り [N1] = 5 生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-20(25)(高炉)W/C60% [N3] = 1 生ｺﾝ小型車割増 小型車割増なし				

【 第　48 号 施工パッケージ 】

鉄筋コンクリート台付管 据付　管径600㎜　　1　m 当り

名　称・規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			1.79				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.5m3(平積0.39m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014			1.28				
その他(機械)							
【労務】			27.72				
普通作業員			7.90				
土木一般世話役			4.78				
運転手（特殊）			3.60				
特殊作業員			3.52				
その他(労務)							
【材料】			70.49				
台付鉄筋コンクリート管(バイコン台付管) 呼び径600BZ,長2500 参考質量1339kg <JSWASA-9>			69.11				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.99				

【 第 48 号 施工パッケージ 】 （続 き）

鉄筋コンクリート台付管 据付 管径600㎜ 1 m 当り

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付			[J2] = 8 管径 600㎜				
[J3] = 2.000 m 個当りの管長さ			[J4] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 49 号 施工パッケージ 】

現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 1.36m3を超え1.44m3以下　　1 箇所 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般･特殊養生(練炭))

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			0.96				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014			0.85				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			0.06				
その他(機械)							
【労務】			82.59				
型わく工			33.73				
普通作業員			21.15				
土木一般世話役			8.81				
特殊作業員			2.93				
その他(労務)							
【材料】			16.45				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%),高炉			15.66				

【 第 49 号 施工パッケージ 】 （続 き）

現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 1.36m3を超え1.44m3以下 1 箇所 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般･特殊養生(練炭))

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.51				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [N1] = 18 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-20(25)(高炉)W/C60% [J4] = 1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 [N3] = 1 生ｺﾝ小型車割増 小型車割増なし			[J2] = 32 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量 1.36m3を超え1.44m3以下 [J3] = 1 養生工の種類 一般養生･特殊養生(練炭)				

【 第 50 号 施工単価表 】

足掛金物据付　　1　本 当り

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	基　準
マンホール用足掛金物 径φ19㎜,足掛幅W300㎜,奥行H220,SUS 後付けﾀｲﾌﾟ(樹脂固着式) SH30-220相当品	1	本				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [y1] = 3 足掛金物規格 径φ19㎜,幅W300㎜,奥行H220						

【 第 51 号 施工パッケージ 】

現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 1.44m3を超え1.52m3以下　　1 箇所 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般･特殊養生(練炭))

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			0.96				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014			0.85				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			0.06				
その他(機械)							
【労務】			82.50				
型わく工			33.68				
普通作業員			21.12				
土木一般世話役			8.80				
特殊作業員			2.95				
その他(労務)							
【材料】			16.54				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%),高炉			15.75				

庄原市

【 第 51 号 施工パッケージ 】 （続 き）

現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 1.44m3を超え1.52m3以下 1 箇所 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般･特殊養生(練炭))

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.51				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [N1] = 18 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-20(25)(高炉)W/C60% [J4] = 1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 [N3] = 1 生ｺﾝ小型車割増 小型車割増なし			[J2] = 33 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量 1.44m3を超え1.52m3以下 [J3] = 1 養生工の種類 一般養生･特殊養生(練炭)				

【 第 52 号 施工パッケージ 】

現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 0.65m3を超え0.69m3以下　　1 箇所 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般･特殊養生(練炭))

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			0.92				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014			0.81				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			0.07				
その他(機械)							
【労務】			83.54				
型わく工			32.23				
普通作業員			25.81				
土木一般世話役			10.68				
特殊作業員			2.84				
その他(労務)							
【材料】			15.54				
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-20(25) W/C(60%),高炉			14.80				

庄原市

【 第 52 号 施工パッケージ 】 （続 き）

現場打ち集水桝･街渠桝(本体) ﾊﾞｯｸﾎｳ打設 0.65m3を超え0.69m3以下 1 箇所 当り

(18-8-20(25)高炉60% ,一般･特殊養生(練炭))

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			0.50				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [N1] = 18 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-20(25)(高炉)W/C60% [J4] = 1 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設工法 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 [N3] = 1 生ｺﾝ小型車割増 小型車割増なし			[J2] = 19 1箇所当りｺﾝｸﾘｰﾄ使用量 0.65m3を超え0.69m3以下 [J3] = 1 養生工の種類 一般養生･特殊養生(練炭)				

【 第　53 号 施工パッケージ 】

プレキャスト集水桝 据付　600kgを超え800kg以下　　1　基 当り

(基礎砕石有り　　,　　)

名　称 ・ 規　格	金額構成比(%)	金　額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基　準
【機械】			8.65				
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排対型1,2,3次 低騒音			6.98				
その他(機械)							
【労務】			88.84				
運転手（特殊）			28.05				
普通作業員			27.34				
土木一般世話役			13.22				
特殊作業員			3.05				
その他(労務)							
【材料】			2.51				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			2.03				
その他(材料)							

【 第 53 号 施工パッケージ 】 （続 き）

プレキャスト集水桝 据付 600kgを超え800kg以下 1 基 当り

(基礎砕石有り ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 作業区分 据付 [J3] = 1 基礎砕石の有無 有り			[J2] = 5 製品質量(kg/基) 600kgを超え800kg以下 [J4] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 54 号 施工パッケージ 】

基礎砕石 12.5㎝を超え17.5㎝以下 1 ㎡2 当り

(再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
【機械】			4.85				
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014			4.82				
その他(機械)							
【労務】			75.15				
普通作業員			36.15				
特殊作業員			15.29				
運転手（特殊）			14.16				
土木一般世話役			9.03				
その他(労務)							
【材料】			20.00				
再生クラッシャラン 40～0㎜			15.16				
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油			4.81				

【 第 54 号 施工パッケージ 】 （続 き）

基礎砕石 12.5㎝を超え17.5㎝以下 1 m2 当り

(再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0 ,)

名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	基 準
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 3 砕石の厚さ 12.5㎝を超え17.5㎝以下			[J2] = 8 砕石の種類 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40～0				
[J3] = 1 費用の内訳 全ての費用							

【 第 55 号 施工単価表 】

Ｕ型側溝据付け L=1000㎜使用　　10 m 当り

(昼間 時間制約無 ,基礎砕石施工無)

名称・規格	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	基準
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 据付け 排水構造物工	10	m				
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [A] = 1 作業区分 据付け			[B] = 2 L=1,000㎜､4,000㎜の使用の有無 L=1,000㎜			
[C] = 2 夜間作業の有無 夜間作業無			[D] = 51 U型側溝種類 再利用撤去 又は材料別途計上			
[E] = 3 規格･仕様区分 L=2000㎜ 1000kg/個以下			[F] = 3 時間的制約の有無 時間制約無			
[G] = 1 施工箇所における補正 施工箇所補正無			[H] = 2 基礎砕石施工の有無 基礎砕石施工無			
[I] = 7 基礎砕石の種類 砕石計上無			[J] = 0.000 m3 基礎砕石設計数量			